



シニア人材活用事例

60歳以上の中途入社者も活躍できる職場

山陽マシン株式会社

(福山市)

シニア人材の活用に企業の活路を

金属加工用工作機械の製造販売を主な業務として発展を続ける山陽マシン株式会社。テーマは「創造」と「技術」。大量生産をおこなう工場とは違い、クライアントの製造現場に合わせた唯一無二の機械を一つひとつ作っていきます。そのため、自動化が難しく、人の配置が重要となります。また、丁寧な仕事が必要となります。そこで、目をつけたのが、シニア人材の活用。シニアが



▲経験豊富なシニア人材に期待するところは大きい、と牧平満専務

持つ熟練の技術や経験を生かした生産、他の社員への知識の伝承の役割を担います。「高年齢者、とりわけ経験者の採用は、社長の希望でもあります」と牧平満専務。シニア人材の活躍に期待し、活路を見出しています。

シニアに合わせた柔軟な勤務

小川さん(69歳)は他社を定年退職し、2年の充電期間の後、山陽マシン(株)に再就職をしました。「前職の経験が生かせるの」と「週3日、9時～16時半までという勤務条件を受け入れてもらえた」のが大きかったようです。山陽マシン(株)では、シニア人材が働きやすいように、短日・短時間勤務などの柔軟な勤務条件に対応しています。小川さんは「とても働きやすい環境です」と感謝します。



▲前職の経験や知識をいかして基盤の配線を担当する小川さん

シニアの経験や技術を若手に

小川さんが主に担当するのは工作機械の制御盤の組立て。山陽マシン(株)では、シニアの持つ熟練の技術や経験を他の社員にも伝承できるよう、作業は3人程度のチームでおこないます。小川さんのチームメンバーは入社7年目と1年目の女性社員2人。小川さんが「孫みたいなものです」と笑う一方で、女性社員からは「どんな仕事でもすぐに理解して対応できる。難しいと思う仕事も優しく教えてもらえるので助かっています」と小川さんに感謝します。現場でのこのチーム制がアットホームな職場環境を生み、働く仲間同士で助け合える人間関係の良い職場風土を作っています。不安だった精神的な負担もなく、むしろ頼られる存在として、毎日いきいきと働いています。



▲チーム内での小川さんの役割は大きい



シニア人材採用の工夫

現在、山陽マシン㈱では、130名のうち、60歳以上の中途採用者は7名。まだまだ60歳以上の中途採用者を増やしていきたいと考えて、採用後の早期離職を減らす工夫として、面談に併せて「一日体験」をおこなっています。「実際の仕事を見てもらう以上に、うちの雰囲気を見てもらいたい」と牧平専務はいいます。また「気持ちよく働いてもらうための課題もある」とも。高年齢者に対する職業指導者の配置やさらなるバリアフリー化などには改善の余地があるといいます。

シニア人材の活躍を積極的に進めている山陽マシン(株)。高年齢者が働きやすい職場風土や環境づくりに取り組むことで、若手や女性、障がい者従業員、誰もが長く安心して働き続けられる会社として、さらなる成長に結びつけます。



▲完成したばかりの南松永第3工場。
ここを成功させるためにも人材は必要となる

山陽マシン株式会社

代表者：代表取締役 牧平正義

設立：1986年1月21日

社員数：130名

本社：広島県福山市今津町大明神112-2

TEL：(084)934-9305

業務内容：金属加工用工作機械の製造販売

60歳以上の社員：11名内訳（正社員5名、パート6名）

60歳以上中途採用者：7名（うち障がい者雇用1名）

定年延長雇用：4名

